

近江八幡市第 1 次総合計画 基本計画意見対応表

資料 3

1-1 子育てに対する切れ目のない支援（主担当課：子ども支援課、幼児課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容		担当課	
現状・課題	本文	1	・親の孤立は、核家族化よりも、むしろ地域コミュニティの希薄化の影響のほうが大きい。近江八幡の特色を出すためにも、後者だけに注目してはどうか。	・「核家族」は、ご指摘のとおり、「親と子以外の家族がいない世帯」だが、趣旨は、「親や祖父母世代との日常的な交流がない状況」であるため、下記のように修正します。 L3：「核家族化や地域コミュニティの希薄化」を「親や祖父母世代との日常的な交流の減少や、地域コミュニティのつながりの希薄化」に修正。		健康推進課	
		2	・地域包括ケアシステムの当初の対象は高齢者だが、現在は子どもを含めた全世代が対象である。「子育て世代包括支援センター」という名称では、他の世代が切り離されてしまう。	・「子育て世代包括支援センター」は、母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法に基づく支援事業に特化した機関として設置しており、また「子育て世代包括支援センター」という名称は全国で統一的に使用されているため、名称の変更は行いません。 ・関連して、本文中で、主に子育て支援を目的とした取組について使用されている「地域包括ケアシステム」（L7、指標）という文言は、目的が明確になるよう、「子育て世代地域包括ケアシステム」に修正します。 ・ご指摘の「全世代が対象」という点については、「近江八幡市子ども・子育て支援事業計画」にも、「本市の地域包括ケアシステムの考え方は、子ども、高齢者、障がい者等すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らしつづけることができる姿の実現をめざすものです」と明記されているため、第 3 段落を以下のように修正します。 L11：「今後は、」の後に「本市がめざす地域包括ケアシステムの一環として、」を追加します。		健康推進課	
		3	・広々とした公園や広場の整備を「検討する」という表現は消極的なので、「積極的に取り組む」という表現にしてはどうか。	・「現状」としては、あくまでも検討の段階であるため、本文の修正は行いません。			
		4	・「現状・課題」には、子どもだけでなく、地域全体を意識した表現がなければならない。	・ご指摘の趣旨は、L4 の「地域ぐるみで子育てするという意識の醸成と環境の整備が求められています」の中に含まれています。			
		5	・「地域コミュニティの希薄化」という表現は適当か。「地域ネットワークの希薄化」や「弱体化」なら違和感がない。 ・ただし、この文言がこの分野で一般的に使われているなら、整合性の確保が必要。	・ご指摘を踏まえ、L4 の「地域コミュニティの希薄化」を「地域コミュニティのつながりの希薄化」に修正します。		まちづくり支援課	
	データ・図表	1					
		2					
めざす姿		1					
		2					
取組方針		1	・子育て包括支援センターのメインターゲットはハイリスク親子であることが想定されるが、ハイリスク親子に限らず、全ての人が利用しやすい仕掛けが必要。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。 ・取組方針②L1 の「親が孤立せず」を「全ての親が孤立せず」に修正します。 ・取組方針②L2 の「ハイリスク者への適切なケアマネジメント」を削除し、「学校園や保護者を含め、幅広い子育て（支援）の担い手間での交流によるニーズの集約や、」を追加します。			
		2	・保育所・幼稚園から中学校までの公教育を行政が切れ目なくつなぐという姿勢を示すことが必要。				

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	担当課
	3	・市立の幼小中は交流があるが、私立の保育園等との間にはそれほど交流がないため、もっと連携が取れるとよい。	・ご指摘及び「現状・課題」との整合性を考慮し、主な取組③に「公園等の整備」を追加します。 ・具体的なご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	
	4	・学校園、支援の担い手、さらには保護者が話し合い、調整できる場の創出が取組方針の中にあればよいのではないか。		
	5	・子育て世代地域包括ケアシステムは、専門職がリスクを拾い上げる仕組みだが、システムの中に、学校の先生や地域の父母など、多様な子育て（支援）主体の意見を集約し、協議できる場があるとよい。		
	6	・小さな公園以外にも、楽しめる素敵な公園があればよい。		
	7	・児童公園には安心して使えるトイレがない。大きな公園だけではなく、既存公園の整備も必要。		
	8	・広々とした公園も必要だが、地域の公園をはじめとして、地域の様々な人が集い、多世代間交流が生まれるような、身近な場が必要。		
	9	・取組方針③には放課後児童クラブのことしか書かれていないが、それ以外の居場所も必要。		
主な取組	1			
	2			
指標	1	・指標は「整備の状況」だが、何をもちて整備ができたと判断するのが不明。	・子育てに対する切れ目ない支援として、現状・課題に記載のとおり「子育て世代地域包括支援ケアシステム」の整備・体制づくりが必要であるため、指標については現状のままとします。指標の数値については、検討します。	健康推進課
	2			
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1			
	2			

1-2 豊かな心身を育む教育の推進（主担当課：教育総務課、学校教育課、障がい福祉課、発達支援課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	担当課
現状・課題	本文	1	・取組方針には「インクルーシブ教育」の記載があるが、現状・課題には関連する記述がないため、前段として記載したほうがよい。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。（下線部が修正箇所） ・ L4：「 <u>創意工夫し問題解決できる力を養うとともに、一人ひとりの個の特性に</u> 」を、「 <u>創意工夫し問題解決できる力を養う必要があります。また、子どもが置かれた状況や障がいの有無を問わず、一人ひとりの個の特性に</u> 」に修正します。	
		2	・インクルーシブ教育の風潮の中で、近江八幡の特色を出せるとよい。		
		3			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	・取組内容が学校にフォーカスされている。もう少し「地域で何ができるか」という視点があるとよい。	・ ご指摘の趣旨は、取組方針②の「学校・家庭・地域の連携強化を図るとともに」に包含しています。 ・ 取組方針②の主な取組に、「地域に出て行って調査活動をしたり地域の人に話を聞いたりするふるさと学習の推進」を追加します。	
		2	・「めざす姿」には「学校・家庭・地域の連携」という文言があるが、「取組方針」以降には地域に関する言及がないのではないか。		
		3	・福祉教育プログラムを充実させるという方向性もあるのではないか。	・ ご指摘の趣旨は、取組方針③に包含しています。 ・ 具体的なご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	
		4	・教育の現場では、ユニバーサルデザイン教育が一つのムーブメントになっている。様々なノウハウの蓄積からピックアップして取り入れるとよいのではないか。		
		5	・発達障がい害の子どもも、個々の能力に目を向ければ、何の問題もなく、社会にとってもプラスになる。		
主な取組		1	・ここで言う「グローバル化」や「国際化」は「欧米」「英語」をイメージしているようだが、真の国際化は、異文化を理解し、誤解や偏見をなくすことではないか。	・ 取組方針①の主な取組に、「異文化理解のための講師を招いての講演会の開催」を追加します。	学校教育課
		2	・学校教育中心の内容で、地域の視点が抜けている。最も重要な非認知能力は、未就学の時期に地域で醸成されるべきである。	・ 取組方針②の主な取組に、「地域に出て行って調査活動をしたり地域の人に話を聞いたりするふるさと学習の推進」を追加するとともに、取組方針①においても言及しています。	学校教育課
		3	・小学校の授業に英語が入ったことで、地域の人々が絵本を読み聞かせる時間が削られてしまった。それでは地域とのつながりが薄れるのではないか。	・ ご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	担当課
指標	1	・①は対象が小6・中3だが、本市が推進するもっと早い時期（就学前）から身につけるべき「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」の定着状況を指標にしてはどうか。	・本市で3年に1回実施している「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」アンケートの「子どもの読書率」に変更します。	学校教育課
	2	・②は、主な取組にICT環境整備に関する記述があるため、環境整備の進捗が確認できる指標を設定してはどうか。	・ICTの導入による、環境整備により子どもたちがどのように変わってきたかみていく指標としたいため、現状のままとします。	学校教育課
	3	・⑤は、研修会の回数というアウトプットではなく、研修の理解度など、アウトカムが知りたい。	・現状のままとします。発達支援のための研修会については、どのように支援につなげていくかを担当職員による5回のケース検討会と就学前の子どもに関わりのある職員を対象とした全体会を実施しているもので、指標については、このままで修正はしません。	幼児課
	4	・質的な部分までわかる指標が理想的である。		
	5	・⑤は「発達支援を理解するための研修会」という表現にしたほうがよい。		
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1	・部活を廃止する動きがあるが、地域で体育ができる環境を整え、部活は不要になるかもしれない。そのような土壌を全国に先駆けて育むという視点があってもよい。	・頂いたご意見は個別計画の中で、検討していきます。	生涯スポーツ課
	2	・市内の地域コミュニティの一部では、地域ぐるみで発達障がい害を正しく知り、正しく支援しようという取組の輪が少しずつ広がっている。それが市域全体に広がるよう推進してはどうか。	・地域における発達障がい害への理解促進は、基本目標②施策2（福祉の向上）取組方針③に包含しています。	
	3	・指標⑤の「発達支援のための研修会」の対象者には、教員や家族だけではなく、地域や当事者以外の人も含めるべきではないか。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。 ・取組方針③L5：文末に「さらに、学校だけではなく、地域社会においても、個の特性に対する理解を促進するための取組を推進します。」を追加します。	

1-3 生涯学習の推進（主担当課：生涯学習課、図書館）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	・「現状・課題」に現状があまり書かれていない。もう少し今の近江八幡の現状がイメージできる記述がほしい。また、「求められます」「必要があります」とあるが、理由の説明がない。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。（下線部が修正箇所） ・本市では、2016 年（平成 28 年）3 月に「近江八幡市生涯学習社会づくり構想・実施計画」を策定しました。本計画は、「ふるさとへの愛着と誇りを背景に、地域の課題と魅力に気づいて学びを深め、学びを生かした取組を皆でつなげていくことで地域の活性化を図る」ことを理念としています。 ・現在は、文化・歴史や環境、人権問題等、様々なテーマに関する学びの機会を、図書館や文化会館、コミュニティセンター等の公共施設で提供していますが、市民の多様な学習ニーズにできるだけ対応するためには、行政だけではなく、民間の機関や、様々なスキルや経験を有する市民の、生涯学習の担い手としての参画を促すことが求められます。 ・また、市民が得た学習成果の地域への展開が、市民のやりがいのみならず、地域の活性化や課題解決につながることを期待されるため、学習成果の活用を促進するための取組も必要です。 ・さらに、地域における学習機会の充実の観点から図書館やコミュニティセンターは中核となる施設であり、地域や利用者のニーズに合致したサービスを効果的・効率的に提供していく必要があります。	生涯学習課
		2	・コミュニティセンターを中心に様々な活動が展開されているが、学区を跨いだ活動や、市域全体での活動は、他市と比べて弱い。		
		3	・社会活動からスタートして、生涯学習的な取組になっている市民活動の事例も市内にある。それを現状に書き、同様の取組を広げていくという方向性が見えるとよいのではないか。		
		4	・生涯学習を充実・浸透させるには、場所や実施主体を限定せず、多様な選択肢を提供する必要があるのではないか。		
		5	・文化や歴史、地域の財産を学ぶという側面が強すぎると、敷居が高くなる。ニーズの変化に応じて、企画や運営は民間が行うなど、もう少し柔らかい内容のものが提供できないか。		
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	・生涯学習を充実・浸透させるには、場所や実施主体を限定せず、多様な選択肢を提供する必要があるのではないか。（再掲）	・主な取組の「生涯学習活動の活性化を図る情報提供」において、包含しています。各種団体や企業提供のプログラム取入れて実施します。（各種団体や企業提供のプログラムを紹介するイベントを開催、情報提供をしています）。	生涯学習課
		2	・文化や歴史、地域の財産を学ぶという側面が強すぎると、敷居が高くなる。ニーズの変化に応じて、企画や運営は民間が行うなど、もう少し柔らかい内容のものが提供できないか。（再掲）		

項目	審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
主な取組	1	・市立図書館の2階が活用できていない。図書館を地域住民のコミュニケーションや憩いの場として活用できないか。	・ご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	
	2	・活動への参加の呼びかけは、社協やボランティアセンターだけでは難しい。	・ご指摘への対応は、主な取組①に包含しています。	
指標	1			
	2			
関連計画	1			
	2			
その他 (施策全体に関する意見等)	1			
	2			

1-4 生涯スポーツの推進（主担当課：生涯スポーツ課、公園課、健康推進課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1	・「めざす姿」は、あらゆる市民が運動するようにならなければいけないという趣旨だが、「スポーツに関わる」という趣旨にすればハードルが下がり、みんなが参加しやすくなる。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。（下線部が修正箇所） ・ <u>スポーツ活動や観戦のほか、スポーツに関連する様々な活動に、あらゆる市民が日頃から関わる機会が充実することで、市民の健康づくりが図られるとともに、市民どうしの交流が広がり、地域の活性化につながっています。</u>	
		2			
取組方針		1	・若い方は、ダンスなど色々なものに挑戦している。本格的な指導者でなくてもよいし、楽しんで、飽きたらやめる程度のものでいい。間口を広げて、スポーツに対する固定観念を取り除くことも大事である。	・ ご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	
		2	・市民の中にもスポーツを教えられる資格を持っている人は多い。市民が自ら企画し参加費を徴収できる形で、体を動かす取組を促進できる仕掛けが必要である。		
		3	・オリンピック・パラリンピック教育は、アスリート養成だけではなく、障がいがある人もスポーツが得意でない人も、何らかの形でオリンピックに関わりましょうというものであり、その理念が大切である。 ・現状の案は観戦や運営について書かれているが、「いろんな人を巻き込む」という文脈になるとありがたい。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します線部が修正箇所） ・ <u>取組方針②：スポーツに関するイベントや施設において、参加・利用はもちろん、観戦や運営など、あらゆる人があらゆる形でスポーツに親しむ機会を創出することで、人々の交流を活発にし、地域の活性化や良好な地域コミュニティの形成につながります。</u> ・ 競技者だけでなく、サポートされる方等の活動については、今後の実施計画等で検討していくため、追加は行いません。	
主な取組		1	・若い方は、ダンスなど色々なものに挑戦している。本格的な指導者でなくてもよいし、楽しんで、飽きたらやめる程度のものでいい。間口を広げて、スポーツに対する固定観念を取り除くことも大事である。	・ ご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	
		2	・市民の中にもスポーツを教えられる資格を持っている人は多い。市民が自ら企画し参加費を徴収できる形で、体を動かす取組を促進できる仕掛けが必要である。		
		3	・大学のサークルとコラボして、学生の空き時間に小中学校に入ることができれば、地域を育むことにもつながる。行政が直接関わらなくても、種をまけば、後々に続いていく可能性があるのではないか。		

項目	審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
	4	・「取組方針」に「障がいの有無にかかわらず」という文言が入っているのはとてもよいが、それ以外の部分では、障がい者の参画をどう促したいのかが見えてこない。	・ 競技関連の事項は、主な取組①に包含しています。 ・ その他のスポーツ関連の活動への障がい者への参画は、取組方針②に包含しています ・ バリアフリー化については、おおむね整備されており、今後も実施していきますが、主な取組としては追加しません。	生涯スポーツ課
	5	・市内の体育施設は、ほとんどがバリアフリーになっておらず、車椅子の方はトイレに行けない、競技場に入りにくい、更衣室がないなど、多くの課題がある。	・ バリアフリー化については、おおむね整備されており、今後も実施していきますが、主な取組としては追加しません。	生涯スポーツ課
指標	1	・例えば、指標③の「スポーツイベント開催件数」に占めるバリアフリーなスポーツイベントの割合を指標にしてはどうか。	・ それぞれの対象に応じたスポーツイベントの普及にもつとめていますが、指標については、子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、1つのスポーツイベントとして、捉えるものとしたいため、このままとします。	生涯スポーツ課
	2	・体育施設のバリアフリー化が課題なら、進捗状況を把握するための指標を設定してもよいのではないか。	・ バリアフリー化については、おおむね整備されている状況であり、今後も実施していきますが、指標としての設定はしません。	生涯スポーツ課
	3	・「いきいき百歳体操の実施か所数」という指標を見る限り、若者の生涯スポーツの推進を本気で図る気がないように見える。	・ 取組方針では、年齢を問わず体力づくりをすることとしており、特に高齢者の体力づくりに重点を置くという内容ではないため、指標を削除します。	
関連計画	1			
	2			
その他 (施策全体に関する意見等)	1			
	2			

1- 5 青少年の健全育成（主担当課：教育総務課、学校教育課、生涯学習課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	・大人がしっかりすることで、地域がもっと健全になるということが書かれているとよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 L8：「このようなつながりを大切にしながら、」の後に、「大人が範を示し、」を追加します。	生涯学習課
		2		・	
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1	・「めざす姿」に「非行防止や立ち直りの支援等」と書かれているから、取組方針もネガティブになる。「夢を描き」など、ポジティブな表現を取り入れてはどうか。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。（下線部が修正箇所） ・地域においてさまざまな組織や団体が連携し、非行防止や立ち直りの支援等を行うとともに、子どもが夢を描き、健やかに成長する過程を支える体制が整っています。	
		2			
取組方針		1	・「めざす姿」に「非行防止や立ち直りの支援等」と書かれているから、取組方針もネガティブになる。「夢を描き」など、ポジティブな表現を取り入れてはどうか。（再掲）	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。（下線部が修正箇所） ・取組方針②：青少年が夢を描き、心身ともに健全に成長するよう、地域行事への参加等による多世代との交流や、自然や地域の歴史に学ぶ行事を通じて、子どもの力を引き出すような様々な機会の提供を図ります。	生涯学習課
		2	・地域行事への参加をもっと呼びかければ、自ずと色々な大人と交わることになり、まっすぐ育っていくのではないか。		
		3	・青少年の健全育成は、どうしてもマイナスの子どもを更正するという視点になるが、子どもの力をみんなで引き出すという視点が「取組方針」に入らないか。		
		4	・地域からの参画や、地域で支える仕掛け・体制の重要性、子どもたちへの働きかけ等の視点が入れば、みなさんのご意見を踏まえた内容になるのではないか。		
		5	・多世代交流の中で、子どもが想像力や行動力を身に付ける機会が持てるのではないか。	・ご指摘の趣旨は、取組方針②に包含しています。	
主な取組		1	・幼小中高に地域コーディネーターが配置されている。青少年の健全育成には、学校が主体となりながら、取組を地域に広げるという視点が必要ではないか。	・ご意見の内容は、今後の取組検討の際の参考とします。	
		2	・子どもたちが、身近な働く20代・30代の話を聞くことは、職業体験に行く以上に大事であるため、若い世代が参画できる機会の創出も必要である。		
		3	・大学生が出身小中学校に出向くという取組で、モデル校を1校指定されているが、他の学校でもできれば、さらに機運が高まるのではないか。		

項目	審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
	4	・職場体験の際、高齢者福祉施設に必ず1回は行くようなローテーションを組んで、高齢者と交流すれば、高齢者に対する理解が深まるのではないか。		
	5	・新興住宅地では、地域行事に参加のしようがないため、学区を飛び越えて地域行事に参加できるようになるとよい。		
	6	・地域行事にただ「参加して」と声をかけるだけでなく、参加してもらえるような内容を考えればよいのではないか。		
	7	・子どもだけではなく、親自身の悩みに寄り添うような場面をどのように作るかも考える必要があるのではないか。	・教育大綱においても、3つの柱の1つに「親が育つ」とあり、親自身が成長することにより、子どもの成長にも好影響があることから、親自身の成長への取組を行っており、また、日頃から親へのサポートおこなっているところですので、基本計画においては、このままとします	学校教育課
指標	1	・少年事件の検挙者数は把握しやすいが、もう少し前向きな指標が設定できないか（小中学生による青少年健全育成標語数、標語作成に取り組んだ児童・生徒数など）	・様々な取組の効果を測定するという観点では、現状の指標が適切であると考えられることから、指標の見直しは行いません。	
	2	・学校でアンケートを実施し、家庭・学校・地域における健全育成環境の状況を把握してはどうか（例：「親（保護者）は自分の話を聞いてくれているか」「先生は自分の話を聞いてくれているか」「保護者・親戚や先生以外に関わった大人はいるか」）	・例年、各校で行われている「学校評価アンケート」の質問項目の中に、教育相談体制に係る項目（「先生は、なやみごとなどの話をよく聞いてくれる。」等）が必ず設定されています。その質問項目に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合を指標とします。	学校教育課
	3	・地域コーディネーターによる支援の仕組みに関する指標があればよいのではないか。	・現在配置されている地域コーディネーターは「地域学校協働活動推進員」として学校支援を担当するものであり、青少年の健全育成の取組のコーディネートをやるものではないため、指標の見直しは行いません。	生涯学習課
	4	・全ての学区で子どもが地域活動に参加することを目標としてはどうか。	・「新興住宅地では地域行事に参加できない」というご指摘があることから、ご提案の指標は設定しません。	
	5	・価値観が多様になり、絶対に学校に行かなければならない時代ではないにもかかわらず、「不登校生徒在籍率」を指標にすると、先生方が「登校させなければならぬ」と考えて、健全育成とは逆の方向に進んでしまうのではないか。	・指標を削除します。	学校教育課
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1	・ポジティブに地域にかかわる中で、子どもたちが育っていくという視点が加わるとよい。 ・一方で、困難を抱えた子どもを地域で支える視点も必要であり、そこを外さないことも大事である。	・ご意見の通りめざす姿や取組方針の内容を修正しています。	

2-1 人権の尊重（主担当課：人権・市民生活課、まちづくり支援課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見	修正内容	
現状・課題	本文	1 「今後は、より多くの市民が人権問題に関する正しい知識を」とあるが、人権問題は「知識」で求めていくものなのか。お互いの理解の仕方、認識の仕方実践的な態度にどうつなげていくか、ということをしつかりと謳っていくべき問題だと思う。	ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 ・ L7:「より多くの市民が人権問題に関する正しい知識を」を「より多くの市民が、人権問題を自分に身近な問題と捉えた上で、正しい <u>理解と認識を深め</u> 、お互いを尊重できるよう・・」に修正します	人権・市民生活課
		2 「現状・課題」をどう見るかというときに、「今後は」と書くのであればそういったことも含めて書いていただきたい。		
		3 「知識」ではなくて「理解」が良い		
		4 同和問題は、部落問題・結婚差別がありまだまだ外せないが、もっと幅広い様々な人権問題を取り上げていくということで、もう少し幅を持って書いてほしい。		
		5 人権を言い換えたような、我が事であるという定義づけがどこかにのつてくるとよい。		
		6 人権が身近な問題として捉えていただけるように盛り込んでいただきたい。		
		7 様々な人権問題を大事にする、近江八幡だということをこのどこに書けばよいのか、「現状・課題」でどう捉えているのか、というところで書いてはどうか。	・ 現在の表記の冒頭に、様々な人権問題に言及しております。	人権・市民生活課
		8		
	データ・図表	1 「現状・課題」に『「すべての人が平等に扱われるべきだ」という考えがいまわっている社会だ」と考える市民の割合』というグラフは指標として使うか。	・ ご意見を踏まえ、指標に“「すべての人が平等に扱われるべきだ」という考えがいまわっている社会」だと考える市民の割合”を追加します。	
めざす姿		1 学校での人権学習は、近江八幡市は他市よりも進んでいると思うので、「滋賀県をリードする」ぐらいの言葉を書いてくれたらと思う。	・ 他市町より優越するのが目的ではないので、追記は行いません。（ご指摘いただいたぐらいの気概で取り組むことは重要）	
		どうすれば人権の問題を自分事として考えられるか、ということなので、そういうことが浮き出てるような表現がどこかにあれば良い。	・ ご指摘を踏まえて「市民一人ひとりが <u>当事者意識を持って人権尊重の重要性を正しく</u> （以下同じ）」と修正します。	人権・市民生活課
取組方針		1 多文化共生の推進という部分では相手を思いやって相手にわかりやすい表記をしてあげてほしい。	ご指摘を踏まえ、取組方針③を下記のとおり修正します。 ・ 様々な文化や生活習慣をもつ市民同士がお互いに理解・協力し、地域の一員として、不便なく暮らせ、まちづくりの取組等にも積極的に参画できるよう、行政サービスの提供に配慮したり、市民交流の機会作りに取り組みます。	まちづくり支援課
		2 「取組方針」の④人権啓発・教育の推進のところ。世代間の認識の差が大きいのではないか。イベントや企画も参加されるのは一定の年齢の方が多く、若い方があまり参加されていないのが現状だと思う。	・ ご指摘を踏まえ、取組方針①を「より多くの市民に対する人権の啓発や人権教育を推進します」を「若者などより幅広い市民に対する人権の啓発や人権教育を推進します」と修正。	人権・市民生活課
		3 現状を踏まえて、内容を工夫して、より若い方や、参加者が広がればよい、というニュアンスを取組方針①に入れる		

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	
主な取組	1	様々な国の方が来られるので、リーフレット一つにしても、近江八幡市として備えておくべき水準について、考えなければならない。	・ ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します（下線部が修正箇所）。 ・ 多文化共生の推進（意識啓発、推進体制整備、<u>「やさしい日本語」の活用推進</u>）、等	まちづくり支援課
指標	1	今、自分が不都合を感じていないから世の中には不都合な事はないと思っている年代層に、いろいろなことがあるということを学校、あるいは学校外等で学ぶ機会も含めての指標の①にしないといけない。	・ 参加者の年齢が固定化しないように、周知する際には、気をひくようなフレーズにする。また、周知も全戸配布の他に、それぞれの対象に応じた周知を実施することにより、新規の方や若年齢の方もきてもらえるように工夫する。このため、指標については、現状のままとします。	人権・市民生活課
	2	男女共同参画も人権啓発も、同じ人しか参加していないのであれば、この指標で実をとることはできないと思う。他に文言を盛り込むよりも指標の中身がもう少し充実するように練り上げる必要があるのではないかと思った。		
	3	人権啓発に関するイベントや講座というと非常に様々な分野になるが、このイベントはどのようにピックアップして指標をとるのか。		
	4	参加数をどうとるか。		
	5	あまり参加人数にこだわりすぎるとよくないのではないか。		
	6	「現状・課題」と「指標」の整合性をみると、⑤児童・障がい・高齢者虐待の件数のところに DV の件数も入れておいたほうが良いのではと思うがどうか。	・ 基本計画での指標の追加はせず、実施計画での指標等の検討の参考とします。	
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1	人権問題への参加人数が減って固定化してきているので、たくさんの方が参加できるような講師を呼べるよう工夫してほしい。	・ 具体的に取組を進めるにあたって留意します。	
	2			

2-2 福祉の向上（主担当課：福祉政策課、援護課、障がい福祉課、発達支援課、長寿福祉課、介護保険課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	4行目、「高齢者や子どもの貧困が社会問題化する中、経済的な厳しさを抱える市民に、適切な支援を提供することが求められています」とあるが、福祉的な課題が経済的課題に限定されているのではないか。	貧困に言及しているので経済という用語は必要ですが、ご指摘を踏まえて以下のように修正します。 ・ L4：「経済的な厳しさを抱えて <u>孤立する</u> 市民に対して、適切な支援を提供」	
		2	「要介護度が比較的軽い高齢者への生活支援の強化」と書かれているが、行政の仕事でいうところの総合事業、要支援は介護保険から外されたので、ボランティアに丸投げのイメージに見える。「総合事業の充実」とはっきり謳っていただかないと、行政は何をしているのかという感じになる。	・ 現状を整理している部分であり、主な取組の中で「介護予防・日常生活支援総合事業による高齢者の社会参加と介護予防の推進」と記載されているため、現状・課題には追記しません。	長寿福祉課
		3	「自助・互助・共助」、とあって、「公助」が抜けているのが、わざとではないか、と思われる。	・ 地域包括ケアシステムの考え方に基つき、「自助・互助・共助・公助」という表現で統一します。	長寿福祉課
		4	「公助」が抜けて、「互助」が入っているのはなぜか。		
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1		・ 共助の後に「・公助」を追記します。	
		2	受動・能動だけではない、共に生きる社会、それをどこに入ればよいかは難しい。	ご指摘を踏まえ、以下のように修正します（下線部が修正箇所）。 ・ すべての市民が自助・互助・共助・ 公助 により、住み慣れた地域の一員として安心して暮らし、 <u>ともに生きる社会が実現</u> しています。	
取組方針		1	これだけ羅列する必要があるのか。	・ 分野が多岐にわたるため、取組の統合は難しいと考えます。	
		2	③障がい（児）者福祉の充実で、障がいは「持つ」ではなく「ある」と表記するのが普通だと思うので直した方が良い。	・ ご指摘の通り「障がいがある」に修正します。	障がい福祉課
		3	（基本目標①-2での指摘）市内の地域コミュニティの一部では、地域ぐるみで発達障がい害を正しく知り、正しく支援しようという取組の輪が少しずつ広がっている。それが市域全体に広がるよう推進してはどうか。	ご指摘を踏まえ、取組方針⑤を下記のように修正します（下線部が修正箇所）。 ・ 早期の療育支援や子どもの特性に合った指導が <u>受けられるよう</u> 、障がいの早期発見・早期支援の体制を <u>推進するとともに、地域における発達障がいへの理解を促進</u> します。	発達支援課
主な取組		1	「消費者保護に関するボランティアの育成と活動支援」とあるが、消費者保護に限定する必要があるのかどうか。消費者保護については別の施策でも取り扱っているので、ここは限定せずに、より地域に愛着が持てるような「地域活動の第一歩を踏み出すための、社会参加の育成や活動支援」といった意味あいにしていただけると嬉しいと思う。	・ ご指摘の通り、消費者保護が特出されるのは不自然なので、「地域における福祉活動に関するボランティアの育成と活動支援」に修正します。	
		2			

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	
指標	1	③福祉的就労から一般就労に移行した障がい者数を指標にするのはちょっと危険だと感じた。自立が経済的自立と限定して解釈される誤解を招く。むしろ居場所があるとか社会参加の場所とか、違うものにできれば良いと感じた。	各指標のねらい・意図・修正対応については下記の通りです。 ①当初、ボランティア登録数（高齢者支援・障がい者支援・地域活動）から変更した。「地域における支え合いの基盤の拡がり（自治会単位での見守り支え合い推進組織）の数 ②この階級は10年間で状態が大きく変わることから、この階級とそこにいたるまでの介護予防が進むことで認定率の低下が期待されるため。 ③福祉的就労から一般就労への移行については、第5期障がい福祉計画において移行者数の数値目標を設定しています。また、居場所や社会参加の場所を指標とした場合、居場所や場所は多岐に渡ることから市において把握することは困難な状況であり、数値化できない。 ④生活保護、生活困窮者が就労へと結びついた件数が取組方針の生活困窮者が自立した生活への移行を客観的に把握できる指標として、適切と考えます。 ⑤児童発達支援事業（療育）のサービスは基本的に就学前が対象であり、「児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業のサービス利用量」に変更します。<u>また、サービス利用量の増加は支援が広く活用されていることを表すといえ、支援の充実を測るひとつの目安になると考えます。</u>	福祉政策課
	2	⑤児童発達支援事業（療育）のサービス利用量だけで発達支援の充実がはかれるのか。		介護保険課
	3	児童と書かれているが小さい子どもだけの問題ではない。		障がい福祉課
	4	局所的な指標が出過ぎてしまっている。		
	5	②75～84歳の要介護・要支援認定率はどういう意味でこれが指標になっているのか。国の制度で拾われない人をどうするかを行政が積極的に支援するべき。		介護課 発達支援課
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1			
	2	基本計画で福祉について触れているのはここだけであるので全般的に触れないとまずい感じはする。近江八幡市がこの部分に力を入れたいということなのか。	総合計画は市の施策を網羅的に記載したものであり、福祉の向上を主目的とする施策は当項に集約していますが、他の施策分野においても福祉の向上に資する施策を記載しています。	

2-3 健康づくりの促進（主担当課：健康推進課、学校給食センター課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	「0次予防」という言葉を使うのであれば、しっかり説明しないとけない。	・「①健康づくりの促進」の内容を下記に修正します。 市民が病気や障がいの有無に関わらず、その人らしく生き、地域で活躍するための力を引き出し、地域づくりを推進する0次予防教育の実践により、市民がQOLを高める主体的活動を支援します。また、関係機関や団体、学校、企業等との連携により、必要な情報提供を行います。	健康推進課
		2			
主な取組		1			
		2			
指標		1	指標③をもう少し踏み込んで「誰かと一緒に食事を摂る回数」という指標が入ると良いと思う。	・基本計画での指標には追加せず、食育推進計画で評価を行います。	健康推進課
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1			
		2			
		3			

2-4 男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの促進（主担当課：人権・市民生活課、商工労政課、総務課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	「出産を機に退職する女性の比率も高い」とあるが本当にそうなのか。経済状況が厳しいから共働きでないといけない、専業主婦になりたくてもなれない人も多いのではないか。保育園に入れなくて復職できないということは聞か、データとしてこの表現はどうか。	・ 男女共同参画白書に記載のあるデータであり、現象としては本当のことであるため修正しません。	
		2	上段は国の表記そのままの文言である。		
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	女性の管理職登用促進があるが、滋賀県が低いので入っているのかもしれないが、そもそも近江八幡に女性が管理職になるようなフィールドがあるのかどうか。管理職登用はなくても良いのではないか。	・ ご指摘を踏まえ、管理職の表現を管理職や各種委員を含む役職として、リーダーに変更し、取組方針を次の通り修正します。 2行目「～女性の参画の促進、女性の就業継続支援、管理職登用促進～」を「～女性の参画の促進、就業継続支援、リーダー登用促進～」	人権・市民生活課
		2	テレワークやワークシェアリングはまだまだ浸透しておらず、それを望んでも企業側に受け入れる枠がなければ、現実不可能。テレワークやワークシェアリングについて企業向けの努力、働きかけとして、どんなことができるのか。	・ 現在は、テレワークは浸透していませんが、今後は、各種研修会について、滋賀県をととして、実施予定です。	人権・市民生活課
		3	生涯独身率が上がり、独身男性も介護離職にならないように、女性に特化し過ぎず、男性の働きやすさも入るとバランスが取れるのではないか。	・ ②の冒頭に「老若男女を問わず」と明記しており、ご指摘の部分に対応できていると考えられるため、修正しません。	
主な取組		1	多様な働き方を可能にする環境づくりの促進とありながら、「主な取組」のところは弱い。	・ 具体的な追記は、全て働き方研修会等において、包含しています。	人権・市民生活課
指標		1	取組方針にテレワークを謳っているの、これを「指標」に入れても良いのではないか。	・ テレワークについては、現在は、浸透していないため、把握することが、難しいため、指標としては、追加しません。今後、普及していくと考えられますので、参考にさせていただきます。	人権・市民生活課
		2	育休の取得率を追加してはどうか。	・ 育休の取得率の数値の把握について、女性活躍推進法で事業主行動計画の策定が義務付けられ、その計画から数値を拾うことはできるが、従業員 300 人以下の企業については計画策定が努力義務であるため、市内には策定企業がほとんどなく、把握が難しいと思われるため、指標の追加は行わないこととします。	人権・市民生活課
		3	自分の望む人生が送れているかという部分で、「指標」②をもう少し別の聞き方ができないか。	・ ご指摘を踏まえ、指標を「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべきという考え方に同感しない割合」に変更します。	人権・市民生活課
関連計画		1			

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	
その他 (施策全体に関する意見等)	1	個人の意識だけでなく、育休を取りやすい環境を地域社会全体で整えていこうといったことが書かれると良い。	・ 取組方針②「多様な働き方を可能にする環境づくりの促進や、互いの働き方を認め合う意識の高揚」という部分で表現されていると考えます。	
	2	方針か指標のところ、男性も女性も自分の望むべき人生を歩めているかどうかといったフレーズが入ると良い。	・ めざす姿の「全ての市民が、性別や年齢ではなく自らの意思によって」という部分で表現されていると考えます。	人権・市民生活課
	3	近江八幡の枠組みが男女共同参画やワーク・ライフ・バランスを考えると、人権問題としてしか捉えられていない。	・ 人権と別の施策として位置づけた今回の総合計画が、ワーク・ライフ・バランスを広く捉えるきっかけになると考えます。	
	4	どうなればワーク・ライフ・バランスがいいのかが、このグラフ、文章から目標を読み取れない。	・ めざす姿に示した「個々の生活環境や健康状態、興味・関心に応じて、仕事と仕事以外の時間をバランスよく確保」というところで表現されていると考えます。	

2-5 医療の充実（主担当課：総合医療センター（総務課、経営企画課、医事課、患者総合支援課）、保険年金課、健康推進課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	看取りができる医師を増やすためには介護スタッフ、訪問看護との連携が必要だが、それがうまくできるかどうか課題。	ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 ・ L2「多くなっており、在宅で医療や介護が受けられる環境づくりの推進に向け、医療と介護の連携が重要な課題となっています。」	長寿福祉課
		2	医療の充実が、高齢者だけの範疇にならないような記述があれば良いと思う。	ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 ・ L8「一層の連携強化を図り、子どもから高齢者まで、すべての市民が適切な医療を受けられる（以下同じ）」	長寿福祉課
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1			
		2			
主な取組		1	・②在宅医療の推進に「医療福祉ネットワーク会議おうみはちまん“つながりネット”」とあるが、つながりネットの中に障がいの関係者が含まれていない。看取りの課題も、高齢者と同じ構造である部分が多いので、その辺を考えていただければ良い。	・ 取り組みは高齢者領域が先行しているが、もともと除外はしていません（構成員は「医療・介護・福祉職」で、福祉職で網羅）。障がい児・者を含めて医療ケア実態調査を実施し、それが取り組みの起点ともなっています。	長寿福祉課
		2			
指標		1	指標②認知症日常生活自立度Ⅱ以上の要介護（支援）認定者における在宅比率は意味があるのか。	・ 認知症になっても、重度になっても住み慣れた地域で生活できる体制が整備できているかを表しています。要介護認定者や認知症高齢者が増加する 2025 年においても、在宅比率を維持できる（低下させない）ことを目標としています。	長寿福祉課
		2	在宅医療をしている医師の割合とかは指標になりにくい。	・ 在宅医を増やすことは現実的ではないので指標には不適と判断。医師を増やすことが容易ではない現実をふまえ、それを補う多職種連携の推進等に取り組んでいます。	長寿福祉課
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1	・障がいをお持ちの方の医療が、地域包括ケアの中に仲間入りしてほしい、という家族の声が多い。	・ 上段のとおり、そもそも除外はしていません。「現状・課題」において追記。	長寿福祉課
		2	高齢者以外は市民という言葉しか出てきていないので、子どもや障がい者もあるので、そういったことも盛り込めると良い。	・ 現状・課題において追記します（本文 2 の修正内容を参照）。	

3-1 環境保全の推進（主担当課：環境課、上下水道課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	市内にある農地面積を考えると、今後 10 年で草刈や排水路の清掃などの維持管理が困難になってくる。今でも 80 歳近い者がやっており、若手が出てこないのが現状で、市内の広大な面積を占める農地の環境は相当悪化する。この点を課題として挙げておくべきではないか	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ L7：「生態系への影響のほか、地球温暖化」以下に「や豊かな自然環境の基盤となっている農地や森林が荒廃の危機に瀕しており、対応が～」の文言を挿入・修正します。 ・ 取組方針①の主な取組に、「森林保全、農地環境の保全」を追加します。	環境課
		2	森林や西の湖に関しては環境基本計画に書いているが、具体的な部分は課題で触れてもよいのではないかな。		
		3	・農地が環境保全に重要な役割を持っている、今後も維持管理していく必要があるということをチラッと触れても良いのではないかな。 ・森林保全も同様。現実的には林業としては成り立たないが、一方で放置していいものでもない。この矛盾を環境という観点からきちんと取り組む必要があることを課題に書いておく必要があるのではないかな。		
		4	現状・課題に関しては農地や森林が環境にとって非常に重要な要素であるため、持続的に保全する重要性を環境の面からも指摘しておく。		
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	本市では林業はほぼないが森林保全の観点から地球温暖化防止の観点からも必要ではないかな。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 取組方針①の主な取組に、「森林保全、農地環境の保全」を追加します。 ・ アオコ対策については、「悪臭対策」に包含するため追加・修正等はいりません。	環境課
		2	月末にはアオコ発生率が高くなり西の湖の環境が悪くなる。そのため、文字にして環境を良くするために悪臭対策等も観点として必要ではないかな。		
主な取組		1		・ 上記のとおり取組方針①の主な取組を修正します。	環境課
		2			
指標		1	地球温暖化に対しては、取組の満足度ではなく、実際にどれだけ削減に貢献できたかを数値を計測的に把握できる取組の増加率等の方が指標としては良いのではないかな。中央ではそういう議論がなされているし、企業も取り組んでいると聞いている。	・ 温室効果ガス削減量については、施策とは関係のない数値に連動して上下してしまうため、「地球温暖化対策の推進に関する市民評価」に修正します。 ・ 市民意識の変化を計測する趣旨の意見を受け、市民評価には、市民自らの取組を含めるものとします。	環境課

項目	審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
	2	取組に関しても、今回はアンケート結果や、やり方としては県がやっている環境家計簿への参加数も指標としてありえる。実際に国際的なものや国や県がやっている二酸化炭素排出量は人口や産業産出額等から計測しているため、市の指標として削減するとすれば、人口減少や産出額を減らせば数値が減るとの考えとなる。数字がひとり歩きしてしまえば、環境への取組よりも人口や産業の話になってしまう。		
	3	指標に性格の違うものを入れようとしている。めざす姿の実現状況は、温暖化がどれくらい改善出来たか、取組状況はアウトプットの要素が強くなってくる。両方入れるのであれば、どちらかということを確認にしておいて、近江八幡市の環境の現状を知る上では、これでいいが、市の努力を計測するためには、取組状況の指標をもう少し入れておく必要がある。取組内容は因果関係がある程度立証されているものを挙げて良いのでは。一つの取組だけを取り上げると、各論に寄りすぎるため、総合計画の指標としては取組を包含的に評価できるような指標があっても良いのではないか。		
関連計画	1	農業と環境が関連しているのであれば関連する計画があるため、農業の関連計画を入れるべきではないか。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正。 ・ 景観農業振興地域整備計画、近江八幡市農業振興地域整備計画等の計画を加えます。	環境課
	2			
その他 (施策全体に関する意見等)	1			
	2			
	3			

3-2 歴史文化の保全と活用（主担当課：文化観光課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	現在の課題の書き方は、先に観光が来ている。それよりも地域の人 が知って理解して、自分の地域の素晴らしさを理解して誇りに思うこと が先で、それを観光客が見に来るとの考え方が良いのではないかと。誇 りに思ってもらう取組を入れることで、やみくもに観光客を呼び込もうと しているわけではない、という意志表示をした方が良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ L7 必要とされることもあり「文化的資源の価値に対して、担い手や市民が理解し、関心を深めて、誇りに思う心を養 うことが重要です」	文化観光課
		2	伝統・文化でいうと、保全・保存・継承が重要になってくるが、一部の 人だけでなく市民全体が理解し、誇りに思えるところまで持って行くの が一番の理想。そうなれば観光資源になり得ると思うので、その辺りを 現状と課題で触れていただいて、指標についても検討いただきたい。		
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	課題の中に、文化・芸術に対する満足度が低いと挙げているが、取 組方針等で十分に触れられていないので、触れる必要があるのでは。	・ 取組方針①に包含されており、事業の実施段階において市民満足度を高める取組を行っていきます。 ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 取組方針③最後：「体制を整備していきます」を「体制を整備するとともに、伝統文化・芸術に触れる機会を身近な ものにしていきます。」に修正します。 ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 取組方針②文中：「保全していくための手法として、」以下に「魅力を対外に発信することなどを通じて」の文言を追 加します。	文化観光課
		2	歴史文化に触れる機会を増やすと取組方針①で出ているが、伝統 文化・芸術に触れる機会は明確に言葉として出てきていないので、取 組方針③の中で少しでも触れていけば意見を拾えるのではないかと。		
		3	市民への発信に限定するのではなく域外への発信も想定する必要が あるのではないかと。		
主な取組		1			
		2			
指標		1	取組方針③に担い手育成や協働の仕組みが謳われているので、指 標にも支援した取組や団体数等を直接測れないのか、測った方が分 かりやすい。	・ 指標に下記を追加します。 ④まちづくり芸術振興事業で支援した団体数 ・ 水郷めぐり等は民間事業（営業行為）であり、行政施策の目標指標にはふさわしくないと考えるため、追加・修正 は行いません。	文化観光課
		2	主要な歴史文化施設とあるが、箱ものだけではなく、伝統文化に関 する水郷巡り等もカウントできないかと。より文化歴史の活用・保全に つながると思うので検討してほしい。		
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1			
		2			

3-3 魅力的な景観形成の推進（主担当課：文化観光課、都市計画課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1			
		2			
主な取組		1			
		2			
指標		1	・違反広告物は取り締まれば、また次が出てくるのでいつまでも減らないのではないかと心配。 ・無電柱化の取組は、近江八幡市は先進的な取組をしているので、今後無電柱が増えていくのであれば無電柱化の取組状況はいい指標になるのではないかと。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・「無電柱化の推進による整備路線の延長」を指標として設定します。	
		2	・指標として違反広告物を挙げると、取締の程度や条例の強化等取組を頑張れば頑張るほど違反が増えることがあり得るため、指標については再度検討した方が良い。 ・近江八幡市の現状として、景観形成上、広告物が大きな課題なのであれば取り上げても良いが、もっと景観について重要な要素があるものを指標に持ってきた方が良い。	・違反広告物については平成 28 年 4 月 1 日に滋賀県屋外広告物条例施行規則が改正され、市としても重点的に取組む施策であるため指標のまま存置します。	
			歴史的建造物の滅失や空き家化による風景の変容での建物喪失が課題認識としてあるのであれば、空き家数等を見れば指標として分かりやすいし、そういった施策にもつながる。また、将来も現在の景観を変えないために何をするのかといった観点が必要。	・伝建地区内における「特定空家」数について把握できているものの、個人所有である老朽化した建物の対応件数を指標とすることについては、費用対効果等の検証も必要であり指標にできるものではなく、設定しない方向とします。現在の景観の形成に係る他の施策を検討します。	文化観光課
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1			
		2			

3-4 ごみの減量と適正処理の推進（主担当課：環境課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1			
		2			
主な取組		1			
		2			
指標		1	指標にある資源ごみの回収量は、安土地区が進んでいて、旧近江八幡地区は進んでいない印象だが、資源ごみの回収量は指標に入れるのは難しいか。	・ ①リサイクル率は、事業所数やその規模、また経済活動の強弱に左右される事業系ごみ量が算入されること、②従来、ほぼ行政回収または集団回収のみで実施されていた缶類やペットボトル、古紙等のほか、白色トレイ等の資源ごみが、大型スーパー等での店頭回収に相当量移行していること、③車両巡回型古紙回収（量の把握は困難）に移行していることなどから、地域で実施されている集団回収等による資源ごみの回収量は年々減少傾向にあります。しかし、量が把握できないスーパー等での資源回収は着実に定着しており、市域全体での資源化量そのものが減少しているとは考えにくく、正確な量が把握可能な指標として原案通りとします。	環境課
		2	分別の種類によってリサイクル率は出ているので、個別の数字を出すか合わせた数字を出すか。		
		3	生活系ごみ排出量が減った方が良いのは間違いない、リサイクルに関してはリサイクル量が減った方が良いのか、悪いのかが分からなくなる。リユースが増えていればリサイクル自体も減っていくという理屈も成り立つ。家電の場合は別だが、ペットボトルであればリサイクル量が減っているのは使用量が減っている可能性もあるので指標としては微妙な性格を持っている。		
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）					

4-1 観光の振興（主担当課：文化観光課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	現状・課題で、水郷等には触れられているが、「景観」という言葉はない。「文化的景観」という言葉が近江八幡の重要な地域資源を統括的に含んだ表現であるため、「文化的景観」という言葉を書いてはどうか。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ L2：「織田信長が築いた安土城に関連する施設など、」以下に「市民が守り育ててきた文化的な景観にあふれるまち全体」の文言を挿入・修正します。 ・ L4：「新たな観光施策も展開されています。」以下に「また、文化的な景観に恵まれた本市には、研修目的の来訪も多く、学びのある観光地といった特徴があります」の文言を挿入します。	文化観光課
		2	文化的景観は、観光客だけでなく、長い間をかけて市民が守り育ててきたものであるという思いを反映していただきたい。		
		3	文化的景観のなかで培われている、目に見えない良さ、知識を学んでもらえるような、学びのある観光地であるという点を重点的に表現できると良い。		
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1	観光客に対する「めざす姿」のみとなっているが、市民の 10 年後のあり方についても触れたほうがよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 「めざす姿」に「また、市民も地域の良さを再認識し、まちの魅力を積極的に発信しています。」の文言を挿入します。 主な取組①に、「市民との協働による観光イベントの実施」を追加します。	文化観光課
		2			
取組方針		1	観光には、歴史・文化・建築物だけではなく商工も含めるべきである。伝統の八幡靴は全国でも有名であるため、職人なども P R していかなければならない。	地場製品の PR が必要と考え、下記のように修正。 ・ 「地域の良さを知り、」以下を、「地場製品や文化的景観等まちの魅力を自ら PR したり」の文言に修正。	文化観光課
		2	歴史や文化に対して市民が誇りを持てることが理想であり、伝統や産業を全国に発信することが重要である。		
主な取組		1	遊歩道を整備するなど、八幡山の整備をしてはどうか。	・ 1. 費用対効果の検証、民間ロープウェイとの兼ね合い等の検討を踏まえる必要があり、取組としては対応しません。 ・ 2. 3. 4 駐車場（駐車台数）は、観光シーズンやイベント開催時の瞬間的な状況を除き、不足はありません。適切な誘導方法を検討していくため、取組としては対応しません。宿泊数施設が少ない（満室状態）ことはなく、イメージが先行しています。滞在時間が伸ばすための魅力づくりや磨き上げに取り組みます。	文化観光課
		2	外からの観光客が来た場合に十分な駐車場がないことは課題である。		
		3	駐車場が少ないため、公共交通を利用してもらい、滞在時間を長くしてもらえばよい。		
		4	近江八幡は宿泊施設が少なく、増やすのも難しい。民泊などを利用しても、不十分である。		
指標		1	入込客数を増やすのか、それとも、日帰り客の滞在時間の増加や宿泊客数の増加を目指すかについて議論する必要がある。	・ 滞在時間の指標化は、訪問者の目的により異なるため指標の意味はないと考えますが、目的達成等の満足度をアンケートの実施等で計りたいと考えます。	文化観光課
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1	住民が気づいていない魅力を見出すために、外部の方の価値観や意見、アドバイスをいただきたい。	・ 具体的な取組を実施する際の参考とします。	文化観光課
		2	観光客を増やすために、市民がどのような責任を持つかを明確にしなければいけない。市民のモチベーションを高めることが重要である。		

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	
	3	風情のある人に来てもらえるように、「学びのある、風情のある人来てください」というキャッチフレーズで売り出してはどうか。		
	4	八幡堀の保全活動のような、アイデンティティを守る活動を市民が続けていかなければならない。		

4-2 農業・水産業の振興（主担当課：農業振興課、農村整備課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	課題において、水産業の状況については、危機的状況であると厳しく書いたほうがよい。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ L12：「漁獲高の減少」以下に、「が進むなど厳しい現状にあり、」の文言を挿入します。	農業振興課
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	農業を産業としてみるならサラリーマン並みの給料を確保しないと厳しい。	・ 農業従事者の経済的安定については、取組方針①②及び主な取組に包含しています。	農業振興課
		2	沖島の漁業は後継者の観点において危機的状況ではないか。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 取組方針②文中：「新規就農」以下に「及び新規漁業従事者」の文言を挿入します。 ・ 主な取組②文中：「新規就農者」以下に「及び新規漁業従事者」を追加します。	農業振興課
		3	取組方針において、食文化の継承や教育が重要なキーワードになるのではないかと。目標に「暮らしを支える」と書いているため、そこに紐付いた方針を書いていただきたい。	・ 食文化の継承や教育については、基本目標③「豊かな自然、歴史、文化を守り・活かし、未来に引き継ぎます」の施策2「歴史文化の保全と活用」の中で、郷土料理や伝承料理などの食文化の継承に関する取組を行うため、ここでは、追加不要と考えています。 ただし、主な取組③「地産地消の推進」においても食文化の継承や教育はできると考えます。	農業振興課
		4	取組方針②は現在の表現では、カリスマの発掘を待つような内容に思えるため、積極的にネットワークを作って育てていくという考え方の方がよい。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 取組方針②文中：「担い手の確保」以下に「、農業及び漁業従事者間のネットワーク強化による担い手の育成」の文言を挿入します。	農業振興課
主な取組		1	後継者問題もあるが、森林施策として外来種や獣害の問題も重要である。	・ 本市では、従来から森林保全に係る獣害（シカ、クマ）の事例が無いため、追加しません。	農村整備課
		2	6次産業を実施するにあたっては地域社会の受け入れ態勢やコンセンサス、意識改革を含めて覚悟して行う必要がある。	・ 6次産業に関しては、主な取組③の「6次産業化への取組支援」に包含しています。	農業振興課
		3	今の農業者だけを対象にするのは難しいため、農業や水産業の後継者も都会から呼び込むべきである。	・ 主な取組②「新規就農者及び新規漁業従事者への支援」の中で、ご指摘の「他地域へ向けた本市での就農のPRや受入支援」への取組も含めて、後継者づくりの様々な取組を行いたいと考えます。	農業振興課
		4	若い人にアピールするような哲学を書き、受入のインセンティブとして住まいの提供などを目指すということを明確に書かなければ、若い人は来てくれない。		
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1	近江八幡は「こういう農業をやりたい」と打ち出していかなければならない。	・ 10年後のめざす姿を設定し、様々な取組を実行する中で、ご指摘の「こういう農業をやりたい」といったことや、他市町との差別化ができればと、考えています。	農業振興課

項目	審議会での指摘・ご意見		修正内容	
	2	伝建地区においても、「こういう町にしたい」というビジョンがあれば、事業者も安心して投資する。	・ ③－ 2、③－ 3 の中で、めざす姿の中で記載しています。	

4-3 商工業の振興（主担当課：商工労政課、農業振興課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	ファーマーズマーケットも出店者の高齢化が進み、出店する人がいなくなってきた。	・ 取組方針①の「担い手育成」及び、4-2「農業・水産業の振興」の取組方針②において対応する施策を述べております。	農業振興課
		2	高齢化で車を持たない人が増えてきたため、駅前で歩いて行ける店をつくるか、配達するか、どちらかになる。生活拠点にある空き家を使った万屋があればいいのではないか。	・ ご提案いただいた手法は買物支援に関する解決手段の一つであり、高齢者支援や、世代を超えた交流など複合的な効果が期待できる取組であると考えます。関連する他の施策とも連携し、今後の具体的な取組検討の際の参考とさせていただきます。	商工労政課
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 (施策全体に関する意見等)		1	補助金で全員を助けるのは難しい。やる気のある人を助け、成功事例を作ってモデルを広げることが重要である。	・ 4-4「創業支援と雇用の場の確保」の取組方針にて包含しています。	
		2	創業塾は 100 回やってもうまくいかない。給料をもらっていた人が給料を払う側になるのが難しいようだ。		
		3	地域の中でお金を回さないといけないが、今はお金が外に出て行っている。	・ 基本構想における基本姿勢に「内発的发展によるまちづくり」と標榜しており、地域内の資源を活用するという大きな方向性は、そちらで示すことができていると考えます。具体的な方策については、今後策定を予定する「地域商工業に関する計画」において検討する予定であることから、総合計画への具体的な表記は見送らせていただきます。👉	商工労政課
		4	市民の責任として先祖が住んできたところをどうするのか検討しなければ、空家がどんどん増え、何もまちづくりができない。	・ 5-2「みどり豊かで快適な市街地の形成」の取組方針②に包含しています。	

4-4 創業支援と雇用の場の確保（主担当課：政策推進課、商工労政課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	「特に若い人たちが希望する職が市内に多くはないのではないか、という指摘が出ています。」と書かれているが、若い人たちが希望する職種とはどういったものか。	・「特に若い人たちが希望する職が市内に多くはないのではないか、という指摘が出ています。」は現段階では客観的事実が乏しいため削除し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の記載内容に沿って、下記のように修正します。 L5：「など、」以下を「雇用の量および質の確保が課題です」の文言に修正します。	
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	どこにいても仕事ができる時代であるため、本社の誘致や職場を作る等は、考えない方が良い。 就職せずにやっていくと言う人が八幡に来てくれるような環境を作ればよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します。 ・ 取組方針②の文中「企業の育成支援」以下に、「働きやすい環境の整備等を行う」の文言を挿入します。 ・ 取組方針②の主な取組に「コワーキングスペース等の設置」を追加します。	商工労政課
		2	雇用の場では、場所だけではなくネットワークも重要である。	・ ご指摘を踏まえ、取組方針①の主な取組に「起業家・様々な専門家のネットワーク強化など、創業支援に関する仕組みづくり」を追加します。	
		3	近江八幡には就職先が少ない。	・ ご指摘の内容は取組方針②雇用創出の推進に包含されています。	
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 (施策全体に関する意見等)		1	若い方が起業するときに、そういった互助組織のようなものと、安心してのびのびとできる。	・ 創業支援事業を実施する際の参考とします。	
		2			

5-1 計画的な土地利用の推進（主担当課：政策推進課、都市計画課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1	縮退やコンパクトシティを、国の方針をそのまま受け入れてはいない。近江八幡もそのまま受け入れず、まずは近江八幡のまちづくりのあり方を明確にして、進めていかなければならない。	・現行の都市計画マスタープランにおいて、土地利用基本方針の中で「コンパクトな市街地形成」と明記しており、現在、取り組んでいる市街化区域の区域区分の見直しにおいても、持続可能なコンパクトな都市（都市を小さくする意味でなく、質の高い生活空間を充足し、中身を濃くすること、充実していること）の実現を基本としています。同時に滋賀県が見直し作業を進められている近江八幡八日市都市計画区域整備、開発及び保全の方針においても、「都市機能の集約化を取り入れたまちづくり」を基本理念に掲げられる予定です。 こうしたことから、立地適正化計画については、住宅とその生活を支える利便施設（商業、医療、福祉等）、仕事や社会参加の場をセットで作りに上げていくための土地利用の効率化に向けた制度上の整備、仕組みづくりであって、計画的な土地利用の推進における一つのツールであると考えます。よって、以上の内容を踏まえ現行案のままとさせていただきます。 なお、都市計画マスタープランをはじめ土地利用の方針については、上位計画である国土利用計画におけるコンパクトシティ等の位置づけによっては、見直しが必要であると考えます。	都市計画課
		2	コンパクトシティは確かに合理的である。しかし合理的であることが良いことなのかが問題である。まちづくりで何を大切にするのかという価値基準や方向性を明確にしなければならない。		
		3	近江八幡としての考えを持たなければならない		
		4	近江八幡はどうするのかを議論しなければならない。必要なもの unnecessaryなものを明確にすると、今後やるべきことが見えてくる。		
		5	拠点をどこに定めるのか、どこに集約するのかという話ではない。どういう暮らしをするか、という観点での機能が必要である。		
		6	コンパクトシティは、効率化して行政コストを削減しようというものであるが、それは文化とは反するものである。文化を守るのか、コンパクトシティを進めるのかの選択である。		
取組方針		1	八幡や安土と、その他の地域との違いを行政は理解しているのか。それを踏まえての提案をしてもらいたい。	・ 取組方針②に包含されています。	都市計画課
		2	立地適正化計画の策定をすると断言するような表現はやめた方がよい。	・ めざす姿修正案と同様です。	
主な取組		1	立地適正化計画の策定について、実際に議論が進んでいるのか。大きな決断になるので、もう一度確認した方がよい。	・ めざす姿修正案と同様です。	
		2	立地適正化計画も使えるところは使うべきだが、言葉に踊らされず、ツールの 1 つだと考えておくのがよい。		
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1			
		2			

5-2 みどり豊かで快適な市街地の形成（主担当課：公園課、住宅課、建築課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	担当する課が違うので難しいと思うが、（コンパクトシティにするのか、みどり豊かな市街地にするのか）筋を通した方が良い	・市街地をコンパクト化することと、市街地の緑を増やすことは矛盾しないと考えます。	商工労政課
		2	空家対策も防犯・防災という文脈で謳っているため、それに対する対策は、行政や事業者だけでなく地域の見守りも重要である。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正します ・取組方針②に、「また、地域での見守り等による情報提供を活かし、正確な情報の把握・管理を行い、生活環境の治安維持に努めます。」の文言を追加します。	まちづくり支援課
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1	街路樹がないとお金がかからなくていいが、古い街路樹がある街は、それが街の風格であるのに切ってしまうのはもったいない。	・取組を実施する際の参考とします。	
			周辺の豊かなみどりと住環境とのつながりをもう一度見直すことが重要ではないか。 無理に住宅地に公共空間を作るのではなく、水辺や森など本来の公共空間と人の接点づくりを考えた方がいいのではないか。	・取組を実施する際の参考とします。	
		2	施策案2では、「みどり」と「快適」という表現があるためにわかりにくい、ここでは、防災・防犯に対する土地利用としてどうするかという観点で話していると思われる。そのため、「みどり豊か」という表現自体を見直した方がいいのではないか。	・公園緑地整備は当該施策の重要なテーマなので言葉自体は外せないと考えます。ご指摘を踏まえ、施策名を「みどり豊かで、安全・快適な市街地の形成」とします。	
		3	基本目標のタイトル「時代にあった安全・安心な生活基盤を築き、次世代への礎を築きます」を軸に施策2の名前をしっかりと書いていただいた方が良い。		

5-3 移動基盤の整備・確保（主担当課：土木課、管理調整課、都市計画課、人権・市民生活課、駅・周辺整備推進室）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	市内では少しの距離でも車に乗ってしまうが、自転車利用を増やすことも大事。自転車がスムーズに走れる道が少ないのが課題である。	・ 自転車利用の利便性向上については現状、課題認識に記載されております。	
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針	1	地域によってはデマンドタクシー・デマンドバスを導入すれば利便性が上がるのではないか。また公共施設だけでなく、商業施設や個人医院にも停車できるようにするべき。	・ 技術的、予算的な課題だけでなく、近江バスとの競合等の理由で空白地帯を走っているため、すぐの導入は困難です。具体的な取組を実施する際の参考にします。	人権・市民生活課	
	2	交通に関して良いアイデアを市民が持っていることが見込まれるため、取組方針として市民との協議・協働を明確にしてほしい。民間事業者よりも市民のほうを向くべきである。	・ 交通の部分だけでなく、「協働・連携による自律的なまちづくり」を分野横断の基本姿勢として示しているため、ここで明記はしません。		
主な取組	1	八幡学区は田んぼを埋めた場所であり、大雨が降ると道路が冠水することがある。中村の交差点もかなり冠水する。道路をコンクリート化して整備するときには排水能力を高めてほしい	・ 具体の取組を行う際の参考とします。		
	2	自転車の乗り継ぎや乗り捨てができるようなシステムがあるとよい	・ 具体の取組を行う際の参考とします。		
	3				
指標	1	自転車の走りやすい道路の整備も指標に入れてほしい。駅から＋１マイル（1.6km）の環境をいかに整えるかによって観光者数が変わる。	・ 平成２８年度４月策定の「近江八幡市道路網マスタープラン」において、自転車・歩行者道路の整備の検討については、方針に位置付けています。今後、個別計画、策定の中で、市道についても検討していきます。	土木課	
	2				
関連計画	1				
	2				
その他 （施策全体に関する意見等）	1				
	2				
	3				

5-4 災害に強いまちづくり（主担当課：危機管理課、管理調整課、建築課）

項目		審議会での指摘・ご意見	修正内容	
現状・課題	本文	1 河川流域に危険なところがある。整備を行っているが計画通りっていないところがある。対策を国や県と一緒に進めなければならない。	・ 具体の取組を行う際の参考とします。	
		2 避難指示のアナウンスの方法について検討が必要。高齢者はタウンメールを登録していない人が多く、不安がある。日ごろからの付き合いが大事	・ 具体の取組を行う際の参考とします。	
		3 消防団の高齢化と「サラリーマン化」。自営業者といっても市内だけで商売が成立せず、常に市内にいないわけではない。有事の時に機能しない可能性がある。	・ 消防団をはじめ、地域における防災の担い手の確保という観点から、下記のように修正します。 L10「であり、地域における防災の担い手を確保しながら、地域・企業・行政が連携しながら災害に強いまちづくりに取り組む必要があります。」	
		4 ・ 個人情報保護の壁を取り除く必要がある。その家に何歳の人がいて、外に働きに行っているかどうかの情報を周知しておかなければならない。 ・ 最近、市役所から自治会に居住者情報を公開しておらず、自治会長は自ら個別で聞きにいかねばならない。個人情報保護の時代で育ってきた 10-20 代の人に対する対応が課題である。様々な人をどう受け入れるか、サービスの仕分けをするかなどの整理が必要	・ 具体の取組を行う際の参考とします。	
	データ・図表	1		
		2		
めざす姿		1 民と官で公をやる。民間でやっていることが必ずしも公ではない、ということではない。逆に官のやっていることがかならずしも公だとは言えない。その合わせ技が大事。	・ L1：ご指摘を踏まえ下記の通り修正します。 「日頃からあらゆる災害に対し、 <u>地域・企業・行政が連携して</u> 、迅速かつ的確な対応が（以下同じ）」	
取組方針		1 近江八幡市は防災計画や防災教育にもっと力をいれなければならない。	・ 具体の取組を行う際の参考とします。	
主な取組		1		
指標		1 指標の中に市民活動参加率、自治会活動参加率のようなものを入れられないか	・ 参加率は市として把握していないため、追加しません。	
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1			
	2			

5-5 犯罪・事故に巻き込まれないまちづくり・消費者教育の推進（主担当課：人権・市民生活課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見	修正内容	
現状・課題	本文	1		
		2		
		3		
		4		
	データ・図表	1		
		2		
めざす姿	1			
	2			
取組方針	1	「消費者市民社会」は新しい言葉だと思うが、域内消費のような内容も含んでいるのか。	・ 広義では、消費者意識の向上に伴う域内消費の拡大の概念も含まれます。脚注ないし計画書の最後に用語解説を掲載します。	
	2			
主な取組	1	犯罪は減ってきているが、再犯率が増えていると聞いている。出所した人を仕事につかせるためにも地域の協力が必要である。	・ 県において再犯防止推進計画を策定予定であり、市町との関りが今後出てくれば検討します。現状では、犯罪のないまちづくりの推進の取組で対応します。	人 権 ・ 市 民 生 活 課
	2			
指標	1			
	2			
関連計画	1			
	2			
その他 （施策全体に関する意見等）	1			
	2			

5-6 定住促進と市の魅力発信（主担当課：政策推進課、ふるさと納税推進室、文化観光課、秘書広報課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1	ふるさと納税に関しては近江八幡市への寄付者が多い。その人たちのつながりを活用し、移住や観光に繋げることができるので、取組方針としても入れてほしい	・「①近江八幡の魅力づくりと発信」についてご指摘を踏まえ下記の通り修正します。 L2： 「近江八幡を知っていただきます。」→「近江八幡を知っていただき、ふるさと納税等を通じて関係人口を増やします。」	
主な取組		1			
		2			
指標		1	CCRC の実現性について心配している。国の予算は減っているが、見通しはどうか。CCRC 構想に伴う移住世帯数を指標にすることが自分の首を絞めないか心配している。	・ ご指摘を踏まえ指標④は削除します。	政策推進課
		2	甲良町は住宅地がないため、彦根に転出していっている。内部の取りこぼしを拾うことが大事。住宅の確保や空き家の活用が重要である。CCRC はここで挙げないほうがいいのではないかと強く思う。めざす姿の内容は良いが、指標の内容のピントがずれている。		
関連計画		1			
		2			
その他 (施策全体に関する意見等)		1			
		2			

6-1 地域・公共の担い手の育成（主担当課：まちづくり支援課）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1	課題のところで、現在の地域に対する市の考え方や市の取組も、時代に合わせ見直していかなければならないという趣旨も盛り込む。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正。 ・ L7：「必要な状況です」以下に「また、行政としても地域支援や協働のあり方について見直していくことが求められています。」の文言を挿入・修正します。	まちづくり支援課
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1	・協働のまちづくり基本条例は5年経過後、見直すと書かれているが見直しの時期は過ぎているので、できれば、めざす姿として現行の協働のまちづくり基本条例も時代と共に見直すことを謳うべきではないか。	・ 個別計画の上位計画である総合計画においては当該分野における市政の大方針を述べるものであり、個別計画や条例のあり方に関してまでは言及しません。ただ、行政としての地域に対する関わり方等の見直しは「現状・課題」にて対応します。	
		2			
取組方針		1	・取組方針②で「地域活動の実施・継続にあたってのアドバイスやコーディネート等のサポートを行うことができる体制を整備し」とあるが、体制は現状ないのか。行政が地域の現状を知って地域活動の実施・継続の取組はしていないのか。現実はやっているのであれば「整備し」ではなく「充実し」の方が良い。	ご指摘を踏まえ、下記のように修正。 ・ 取組方針②「住民主体及び協働による事業推進体制の整備」を「住民主体及び協働による事業推進体制の整備・充実」に修正します。 ・ また取組方針②の文中「地域活動の実施・継続にあたってのアドバイスやコーディネート等のサポートを行うことができる体制を整備し、」を「地域活動の実施・継続にあたってのアドバイスやコーディネート等のサポートを行うことができる体制を <u>整備・充実させ、</u> 」に修正します。	まちづくり支援課
		2	・市としてやるべき事、やりたい事があるという認識はあると思うが、人やお金の不足という最近の行政の実態がある。どういう解決策があるのか難しいが、だからこそ総合計画の中で充実の検討を謳っておくことも大事。		
			・ここに書かれている、課題などについて基本的にはそのとおりだが、具体的にそれを実現していく上では、もう少しどのような取組をするのかというところで、取組方針あたりは工夫が必要。		
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 (施策全体に関する意見等)		1	・市民自治基本計画の基本政策の4項目をどこかに触れてほしい。	・ 原案はご指摘の市民自治基本計画を踏襲したものとなっており、計画中の施策は各所に盛り込まれております。	
		2			

6-2 公有財産の効率的管理（主担当課：行政経営室、管財契約課、上下水道課、土木課、管理調整課、**市庁舎対策室**）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1	・めざす姿の「市民サービスの水準を維持・向上しながら・・・」の部分が嘘くさく感じる。現状を基準にすると客観的に下がるが、維持することが難しいという前提に立てば、期待される水準は維持する、ということにはなるであろうが。	・本項は公有財産の効率的な管理を行うことで行政サービスの持続可能性を高めることを第一目標としています。ご指摘の通り、「期待される市民サービスの水準を維持・向上しながらも変化する市民ニーズに柔軟に対応する」ことは現実的に難しいと考え、「市民サービスの水準を維持しながらも」の文言を削除します。	市庁舎対策室
		2			
取組方針		1			
		2			
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1			
		2			
		3			

6-3 効率的・効果的な行政経営の推進と市民サービスの向上（主担当課：総務課、行政経営室、管財契約課、政策推進課、市民課、住民課、システム管理課、議会事務局）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1			
		2			
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1	行政の部分で職員の削減等を行うことにより、それを受けている学校を支えているまちづくり協議会などの組織への負担が多くなることがないよう、追記していただけるとありがたい。	ご指摘内容は 6－1 に関連する内容であるため、ご指摘を踏まえ、下記のように修正。 ・ 6－1 取組方針②住民主体及び協働による事業推進体制の整備の主な取組に「地域活動をサポートできる職員の育成」を追記します。	
		2	地域担当者をおき、職員ではなく地域の一員として、地域が育てるということであれば、仕事というより研修として地域に派遣ということになる。派遣すると本庁の人員不足に陥るため、どうやって業務を回していくかも含めた効果的・効率的な行政経営を行っていくということ、地域に対して市としての役割責任をしっかりと果たしていく、コミュニティの項目でしっかり書き込んでもらいたい。		
		3	公民館にいた職員を、地域の人が育てていた側面があったが、地方分権や一括法で公民館の職員が一斉に引き上げたために、地域が職員を育てる機会がなくなった。職員が減っている中でもまちづくり協議会に職員を派遣し、職員が育ち住民との交流もできる形を取るのも良いのではないか。		

6-4 持続可能な財政運営の確立（主担当課：財政課、税務課、収納・債権対策課、会計課、上下水道課、総合医療センター（経営企画課、医事課）、ふるさと納税推進室、管財契約課、行政経営室）

項目		審議会でのご指摘・ご意見		修正内容	
現状・課題	本文	1			
		2			
	データ・図表	1			
		2			
めざす姿		1			
		2			
取組方針		1			
		2			
主な取組		1			
		2			
指標		1			
		2			
		3			
関連計画		1			
		2			
その他 （施策全体に関する意見等）		1			
		2			
		3			